



MD(日本うつ病学会) プログラム

一般演題(口演)

※オンデマンド配信
7月8日(木)~7月31日(土)

一般演題(口演)

1. 薬物療法

MP1-1

双極性障害患者の寛解維持と急速交代型への薬剤の影響について (MUSUBI研究1年転帰調査より)

高野 謹嗣¹⁾、足立 直人²⁾、窪田 幸久²⁾、阿瀬川 孝治²⁾、上田 均²⁾、枝川 浩二²⁾、
勝元 榮一²⁾、後藤 英一郎²⁾、本郷 誠司²⁾、坪井 貴嗣³⁾、古郡 規雄⁴⁾、吉村 玲児⁵⁾、
中川 敦夫⁶⁾、三木 和平²⁾、渡邊 衡一郎³⁾

1) 関西医科大学精神神経科学教室、2) 日本精神神経科診療所協会、
3) 杏林大学医学部精神神経科学教室、4) 獨協医科大学精神神経医学講座、
5) 産業医科大学病院神経精神科、6) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

MP1-2

ECTはうつ病入院患者の薬物療法をどのように変化させるか： EGUIDEデータを用いて

坪井 貴嗣¹⁾、五十嵐 俊¹⁾、越智 紳一郎⁴⁾、長谷川 尚美⁵⁾、古郡 規雄⁹⁾、飯田 仁志²⁾、
村岡 寛之¹⁰⁾、高江洲 義和⁷⁾、岡田 剛史⁵⁾、柏木 宏子⁵⁾、小高 文聰⁶⁾、福本 健太郎⁸⁾、
稲田 健¹⁰⁾、渡邊 衡一郎¹⁾、橋本 亮太⁵⁾

1) 杏林大学医学部精神神経科学教室、2) 福岡大学医学部精神医学教室、
3) 自治医科大学精神医学講座、4) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学、
5) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
6) 東京慈恵会医科大学精神医学講座、7) 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、
8) 岩手医科大学神経精神科学講座、9) 獨協医科大学精神神経医学講座、
10) 東京女子医科大学医学部精神医学講座

MP1-3

双極I型障害うつ症状に対するルラシドン単剤療法の有効性の評価： 前治療薬の違いによる事後解析

萩 勝彦、嶋 泰一
大日本住友製薬

MP1-4

双極I型障害患者うつ症状に対するルラシドン単剤療法の有効性評価： 罹病期間の長さの違いによる事後解析

萩 勝彦、嶋 泰一
大日本住友製薬

MP1-5

幼少期被虐待歴とうつ病治療反応性の相関

船橋 紀也¹⁾、緒方 治彦¹⁾、越川 陽介¹⁾、内藤 みなみ¹⁾、坂井 志帆²⁾、板東 宏樹³⁾、
嶽北 佳輝¹⁾、西田 圭一郎¹⁾、砂田 尚孝¹⁾、木下 利彦¹⁾、加藤 正樹¹⁾

1) 関西医科大学精神神経科学講座、2) 医療法人亀廣記念医学会関西記念病院、
3) 社会福祉法人青祥会セフィロト病院

MP1-6

双極性障害における処方実態調査 ～健康保険組合診療報酬明細データを用いた観察研究～

井上 猛¹⁾、山田 佐紀子²⁾、小島 慶嗣²⁾、佐野 博美²⁾、白川 治³⁾

1) 東京医科大学精神医学分野、2) 大塚製薬株式会社、3) 近畿大学医学部精神神経科学教室

MP1-7

**ボルチオキセチンによる早期症状改善からの治療反応予測の可能性：
国内第3相臨床試験CCT-004事後解析結果からの考察**

井上 猛¹⁾、渡部 芳徳²⁾、藤本 真二³⁾、丸本 達郎³⁾、北川 忠行⁴⁾、石田 和之⁴⁾、
中島 温³⁾、守口 善也⁵⁾、藤川 慶太³⁾、渡邊 衡一郎⁶⁾

- 1) 東京医科大学精神医学分野、2) 市ヶ谷ひもろぎクリニック、
3) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、4) 武田薬品工業株式会社日本開発センター、
5) ルンドベック・ジャパン株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 杏林大学医学部精神神経科学教室

MP1-8

**MADRS anhedonia factorに対するボルチオキセチンの潜在的影響：
国内第3相臨床試験CCT-004事後解析結果からの考察**

渡邊 衡一郎¹⁾、渡部 芳徳²⁾、藤本 真二³⁾、丸本 達郎³⁾、北川 忠行⁴⁾、石田 和之⁴⁾、
中島 温³⁾、守口 善也⁵⁾、藤川 慶太³⁾、井上 猛⁶⁾

- 1) 杏林大学医学部精神神経科学教室、2) 市ヶ谷ひもろぎクリニック、
3) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、4) 武田薬品工業株式会社日本開発センター、
5) ルンドベック・ジャパン株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 東京医科大学精神医学分野

MP1-9

**Anxious depressionに対するボルチオキセチンの潜在的影響：
国内第3相臨床試験CCT-004事後解析結果からの考察**

渡部 芳徳¹⁾、渡邊 衡一郎²⁾、藤本 真二³⁾、丸本 達郎³⁾、北川 忠行⁴⁾、石田 和之⁴⁾、
中島 温³⁾、守口 善也⁵⁾、藤川 慶太³⁾、井上 猛⁶⁾

- 1) 市ヶ谷ひもろぎクリニック、2) 杏林大学医学部精神神経科学教室、
3) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、4) 武田薬品工業株式会社日本開発センター、
5) ルンドベック・ジャパン株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 東京医科大学精神医学分野

MP1-10

**「治療抵抗性うつ病に対するケタミン作用機序の探索：AMPA受容体PET研究」
の研究プロトコルの紹介**

内田 裕之¹⁾、大谷 洋平¹⁾、谷 英明¹⁾、三村 将¹⁾、宮崎 智之²⁾、高橋 琢哉²⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 横浜市立大学大学院医学研究科生理学

MP1-11

**Lurasidoneを投与した双極性うつ病の1例
－閾値以下の混合性の特徴も視野に入れて－**

川上 正憲¹⁾、鮫島 大輔¹⁾、阿保 彰寿¹⁾、岡部 究¹⁾、小川 佳那¹⁾、古川 はるこ¹⁾、
忽滑谷 和孝¹⁾、繁田 雅弘²⁾

- 1) 東京慈恵会医科大学付属柏病院精神神経科、2) 東京慈恵会医科大学精神医学講座

MP1-12

うつ病入院患者における睡眠薬処方の実態と他の向精神薬処方との関連

降旗 隆二¹⁾、大槻 怜²⁾、長谷川 尚美³⁾、坪井 貴嗣⁴⁾、沼田 周助⁵⁾、古郡 規雄⁶⁾、
伊賀 淳一⁷⁾、山田 恒⁸⁾、市橋 香代⁹⁾、松本 純弥³⁾、三浦 健一郎³⁾、稻田 健¹⁰⁾、
渡邊 衡一郎⁴⁾、橋本 亮太³⁾

- 1) 京都大学環境安全保健機構健康科学センター、2) 日本大学医学部精神医学系、
3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
4) 杏林大学医学部精神神経科学、5) 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、
6) 獨協医科大学精神神経医学講座、7) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学、
8) 兵庫医科大学医学部精神科神経科学、9) 東京大学医学部附属病院精神神経科、
10) 東京女子医科大学医学部精神医学講座

MP1-13

リアルワールドにおける双極性障害患者の躁病エピソード予測因子

徳満 敬大¹⁾、古郡 規雄^{1,2)}、足立 直人³⁾、窪田 幸久³⁾、渡辺 洋一郎³⁾、三木 和平³⁾、阿瀬川 孝治³⁾、枝川 浩二³⁾、勝元 榮一³⁾、本郷 誠司³⁾、後藤 英一郎³⁾、上田 均³⁾、加藤 正樹^{2,4)}、中川 敦夫^{2,5)}、菊地 俊暁^{2,5)}、坪井 貴嗣^{2,6)}、渡邊 衡一郎^{2,6)}、下田 和孝¹⁾、吉村 玲児^{2,7)}

- 1) 獨協医科大学精神神経医学講座、2) 日本臨床精神神経薬理学会、3) 日本精神神経科診療所協会、4) 関西医科大学精神神経科学講座、5) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、6) 杏林大学医学部精神神経科学教室、7) 産業医科大学精神医学教室

MP1-14

うつ病の薬物治療に対するEGUIDEプロジェクトの効果；
2016～2019年の処方調査から

長谷川 尚美¹⁾、三浦 健一郎¹⁾、松本 純弥¹⁾、安田 由華²⁾、稲田 健³⁾、渡邊 衡一郎⁴⁾、橋本 亮太¹⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、2) 医療法人フォスター、3) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、4) 杏林大学医学部精神神経科学教室

MP1-15

うつ病を併発する不眠症患者における不眠症治療薬レンボレキサントの有効性と安全性：第III相試験事後解析

久保田 直樹¹⁾、Larry Culpepper²⁾、Andrew D. Krystal³⁾、Jane Yardley⁴⁾、Kate Pinner⁴⁾、Margaret Moline⁵⁾、Jess Amchin⁵⁾、Manoj Malhotra⁵⁾、Norman Atkins, Jr.⁵⁾、Andrew Alan Nierenberg⁶⁾

- 1) エーザイ株式会社、2) Boston University School of Medicine, Boston, MA., USA、3) University of California, San Francisco, San Francisco, CA., USA、4) Eisai Ltd., Hatfield, UK、5) Eisai Inc., Woodcliff Lake, NJ., USA、6) Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School, Boston, MA., USA

MP1-16

疼痛を主訴とした高齢者うつ病にセルトラリンとアリピプラゾールによる補助療法が有効であった1例

松本 優^{1,2)}、三好 幸代¹⁾、河邊 憲太郎¹⁾、清水 秀明¹⁾、西川 洋¹⁾、舟橋 裕¹⁾、根岸 彩花¹⁾、森 大晃¹⁾、伊賀 淳一¹⁾、上野 修一¹⁾

- 1) 愛媛大学大学院医学系研究科分子・機能領域精神神経科学講座、2) 松山記念病院

MP1-17

双極I型障害うつ症状に対するルラシドンの有効性評価：
不安症状の重症度による事後解析

井上 猛¹⁾、嶋 泰一²⁾、萩 勝彦²⁾

- 1) 東京医科大学精神医学分野、2) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部

MP1-18

双極I型障害うつ症状に対するルラシドンによる症状的、臨床的、
機能的寛解誘導の評価：ELEVATE試験の事後解析

嶋 泰一、萩 勝彦

大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部

MP1-19

レンボレキサントの処方継続率に関する調査

薄井 健介^{1,2)}、藤井 優²⁾、高橋 龍司³⁾、岡田 浩司^{1,2)}、大内 竜介^{1,2)}、櫻田 久美⁴⁾、丹生谷 正史⁴⁾、吉村 淳⁴⁾、中川 誠秀⁴⁾、山田 和男⁴⁾、渡辺 善照^{1,2)}、鈴木 映二⁴⁾

- 1) 東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学教室、2) 東北医科薬科大学病院薬剤部、3) 東北医科薬科大学医学部、4) 東北医科薬科大学医学部精神科学教室

MP1-20

**リアルワールドにおける双極Ⅰ型・Ⅱ型障害の外来薬物療法の実態とは？
－MUSUBI 2017より－**

篠崎 将貴¹⁾、古郡 規雄¹⁾、足立 直人²⁾、上田 均²⁾、本郷 誠司²⁾、阿瀬川 孝治²⁾、
窪田 幸久²⁾、勝元 榮一²⁾、枝川 浩二²⁾、後藤 英一郎²⁾、三木 和平²⁾、加藤 正樹³⁾、
吉村 玲児⁴⁾、中川 敦夫⁵⁾、菊地 俊暁⁵⁾、坪井 貴嗣⁶⁾、渡邊 衡一郎⁶⁾、下田 和孝¹⁾

1) 獨協医科大学精神神経医学講座、2) 日本精神神経科診療所協会、
3) 関西医科大学精神神経科学講座、4) 産業医科大学精神医学教室、
5) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、6) 杏林大学精神神経科学教室

MP1-21

うつ病患者の退院時処方の特徴：EGUIDEデータより

古郡 規雄¹⁾、橋本 直樹²⁾、長谷川 尚美³⁾、沼田 周助⁴⁾、堀 輝⁵⁾、降旗 隆二⁶⁾、
飯田 仁志⁷⁾、市橋 香代⁸⁾、三浦 健一郎³⁾、松本 純弥³⁾、稲田 健⁹⁾、渡邊 衡一郎¹⁰⁾、
橋本 亮太³⁾

1) 獨協医科大学精神神経医学講座、2) 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、
3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
4) 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、5) 産業医科大学精神医学教室、
6) 京都大学環境安全保健機構健康科学センター、7) 福岡大学医学部精神医学教室、
8) 東京大学医学部附属病院精神神経科診療部門、9) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、
10) 杏林大学医学部精神神経科学教室

MP1-22

**うつ病治療ガイドラインに関するWeb講習の有効性の検討
～EGUIDEプロジェクトから得られた知見～**

飯田 仁志¹⁾、根本 清貴²⁾、長谷川 尚美³⁾、沼田 周助⁴⁾、山田 恒⁵⁾、市橋 香代⁶⁾、
稲垣 貴彦⁷⁾、小笠原 一能⁸⁾、松本 純弥³⁾、三浦 健一郎³⁾、川崎 弘詔¹⁾、稲田 健⁹⁾、
渡邊 衡一郎¹⁰⁾、橋本 亮太³⁾

1) 福岡大学医学部精神医学教室、2) 筑波大学医学医療系精神医学、
3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
4) 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、5) 兵庫医科大学病院精神科神経科、
6) 東京大学医学部附属病院精神神経科、7) 琵琶湖病院、
8) 名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター、
9) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、10) 杏林大学医学部精神神経科学教室

MP1-23

**うつ病の寛解後、抗うつ薬の継続・中止を本人と一緒に決めるための
Decision Aidの開発**

青木 裕見¹⁾、高江洲 義和²⁾、堀 輝³⁾、井上 猛⁴⁾、伊賀 淳一⁵⁾、馬場 元⁶⁾、
三島 和夫⁷⁾、田近 亜蘭⁸⁾、加藤 正樹⁹⁾

1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科、2) 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、
3) 福岡大学医学部精神医学教室、4) 東京医科大学精神医学分野、
5) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、
6) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、
7) 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座、
8) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学分野、
9) 関西医科大学精神神経科学教室

2. 薬物療法以外の治療法

MP2-1 鍼刺激によるうつ病患者の脳血流の変化

— Arterial spin labeled MRIを用いた検討 —

松浦 悠人^{1,2)}、菊池 友和²⁾、山口 智²⁾、吉益 晴夫³⁾、渡部 芳徳⁴⁾、松田 博史⁵⁾、
土屋 一洋⁶⁾、安野 富美子¹⁾、坂井 友実¹⁾

- 1) 東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科、2) 埼玉医科大学東洋医学科、
3) 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、
4) 医療法人社団慈泉会市ヶ谷ひもろぎクリニック、
5) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター、
6) 埼玉医科大学総合医療センター画像診断科・核医学科

MP2-2 治療抵抗性うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法による左背外側前頭前野—右扁桃体間の機能的結合性の改善

和田 真孝¹⁾、中島 振一郎¹⁾、本多 栞¹⁾、中西 智也^{1,2)}、李 雪梅¹⁾、高野 万由子¹⁾、
新井 脩泰¹⁾、三村 悠¹⁾、津川 幸子¹⁾、三村 将¹⁾、野田 賀大¹⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部

MP2-3 反復性経頭蓋磁気刺激法で寛解したうつ病患者における症状推移と残存症状

櫻井 準¹⁾、Tracy Borbour²⁾、Sofia Uribe²⁾、Patricia Cirillo²⁾、
Alejandro Fuertes Saiz²⁾、Joan Camprodón²⁾

- 1) 杏林大学医学部精神神経科学教室、2) マサチューセッツ総合病院精神科

MP2-4 対人関係療法のエッセンスを活かした入院治療が奏功したうつ病の一例

山本 祐輔、井野 敬子、今井 理紗、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

MP2-5 双極性障害を対象とした集団心理教育の再発予防効果

～フォローアップ18か月の経過報告

井上 敦子¹⁾、小林 清香^{1,2)}、押淵 英弘^{1,3)}、稲田 健¹⁾、西村 勝治¹⁾

- 1) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、2) 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、
3) 地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター児童精神科

MP2-6 うつ病に対する遠隔通信技術を用いた認知行動療法の実施可能性

野上 和香¹⁾、中川 敦夫^{1,2)}、加藤 典子¹⁾、佐々木 洋平¹⁾、井出 健太郎¹⁾、三村 将¹⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

MP2-7 電気けいれん療法における過換気手技の有用性の検討：

系統的レビューとメタ解析

五十嵐 俊¹⁾、内海 智博²⁾、青木 裕見³⁾、竹島 正浩⁴⁾、坪井 貴嗣¹⁾、小笠原 正弥⁴⁾、
渡邊 衡一郎¹⁾、高江洲 義和^{1,5)}

- 1) 杏林大学医学部精神神経科学教室、2) 東京慈恵会医科大学精神医学講座、
3) 聖路加国際大学大学院看護学研究科、4) 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座、
5) 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

3. 病態・症状・診断・評価

MP3-1

大うつ病性障害患者における抑うつ症状の早期改善・寛解と6ヶ月時点の認知機能的予後との関連

住吉 太幹¹⁾、星野 竜也²⁾、三代 泉²⁾、守口 善也³⁾、藤川 慶太²⁾、Jovelle L. Fernandez²⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、

2) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、

3) ルンドベック・ジャパン株式会社開発本部メディカルアフェアーズ部

MP3-2

大うつ病性障害患者におけるベースラインの認知症状とその後のプレゼンティズム及び社会機能の関連

渡邊 衡一郎¹⁾、三代 泉²⁾、丸本 達郎²⁾、守口 善也³⁾、藤川 慶太²⁾、

Jovelle L. Fernandez²⁾

1) 杏林大学医学部精神神経科学教室、2) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、

3) ルンドベック・ジャパン株式会社メディカルアフェアーズ部

MP3-3

「EGUIDEプロジェクト」うつ病治療ガイドライン適合度を用いた処方評価について

福本 健太郎¹⁾、古郡 規雄²⁾、村岡 寛之³⁾、安田 由華⁴⁾、市橋 香代⁵⁾、飯田 仁志⁶⁾、
小高 文聰⁷⁾、越智 紳一郎⁸⁾、長谷川 尚美⁹⁾、松本 純弥⁹⁾、三浦 健一郎⁹⁾、渡邊 衡一郎¹⁰⁾、
稲田 健³⁾、大塚 耕太郎¹⁾、橋本 亮太⁹⁾

1) 岩手医科大学医学部神経精神科学講座、2) 獨協医科大学医学部精神神経医学講座、

3) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、4) 生きる育む輝くメンタルクリニック、

5) 東京大学医学部附属病院精神神経科、6) 福岡大学医学部精神医学教室、

7) 東京慈恵会医科大学医学部精神医学講座、8) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学、

9) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

10) 杏林大学医学部精神神経科学教室

MP3-4

EGUIDEデータから、うつ病重症度記載によるうつ病入院患者の薬物療法の変化

村岡 寛之¹⁾、長谷川 尚美²⁾、古郡 規雄³⁾、福本 健太郎⁴⁾、柏木 宏子⁵⁾、小高 文聰⁶⁾、
松本 純弥²⁾、三浦 健一郎²⁾、稲田 健¹⁾、渡邊 衡一郎⁷⁾、西村 勝治¹⁾、橋本 亮太²⁾

1) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、

2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

3) 獨協医科大学精神神経医学講座、4) 岩手医科大学神経精神科学講座、

5) 国立精神・神経医療研究センター病院第二精神診療部、6) 東京慈恵会医科大学精神医学講座、

7) 杏林大学医学部精神神経科学教室

MP3-5

寛解期うつ病の認知機能障害と抗コリン作用の関連性

吉成 尚人、前嶋 仁、鈴木 利人、馬場 元

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

MP3-6

治療抵抗症うつ病患者における終夜睡眠ポリグラフ検査所見及びアクチグラフデータと臨床指標及び心理検査との関連

神田 優太

杏林大学医学部精神神経科学教室

MP3-7 拒絶に敏感な人は情動を表現することで抑うつ感が緩和するか？

杉山 崇

神奈川大学人間科学部・心理相談センター

MP3-8 ライフイベントに関連した心理的苦悩症状の解明と尺度開発関 亮太¹⁾、橋本 佐^{1,2)}、田中 麻未³⁾、石井 宏樹¹⁾、小川 道¹⁾、佐藤 愛子^{1,2)}、
木村 敦史¹⁾、椎名 明太⁴⁾、中里 道子²⁾、伊豫 雅臣¹⁾

1) 千葉大学大学院精神医学教室、2) 国際医療福祉大学医学部精神医学教室、

3) 千葉大学社会精神保険教育研究センター非行臨床研究部門、

4) 千葉大学社会精神保険教育研究センター治療・社会復帰支援研究部門

MP3-9 うつ病患者における治療反応性とamyloid β oligomerに関する研究

安田 誠太、馬場 元、前嶋 仁、市川 朝也、夏目 俊太郎、済田 貴生、吉成 尚人、

清水 健太郎、鈴木 利人

順天堂大学医学部精神医学教室

MP3-10 うつ病患者における血清 α シヌクレイン濃度と認知機能の関連性清水 健太郎^{1,2)}、馬場 元^{1,2)}、前嶋 仁^{1,2)}、市川 朝也^{1,2)}、安田 誠太^{1,2)}、吉成 尚人^{1,2)}、
福島 絵里子^{1,2)}、鈴木 利人^{1,2)}

1) 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学、2) 順天堂大学医学部精神医学講座

MP3-11 高齢うつ病患者の血清TDP-43濃度と抑うつ症状との関連性市川 朝也¹⁾、馬場 元^{1,2)}、前嶋 仁¹⁾、安田 誠太¹⁾、吉成 尚人^{1,2)}、清水 健太郎^{1,2)}、
鈴木 利人^{1,2)}

1) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 Juntendo University Mood Disorder Project (JUMP)、

2) 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

MP3-12 Hamilton Rating Scale for Depression 7点以下のうつ病患者に残遺した抑うつ症状と生活の質との関連山形 祥礼、辻井 農亜、中田 翼、寺田 徹、三川 和歌子、安達 融、瀧川 清統、
白川 治

近畿大学医学部精神神経科教室

MP3-13 中高生に現代抑うつ症候群は存在するのか？(1)：質問紙法による検討

中根 えりな、田中 伸一郎、尾形 広行、井原 裕

獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科

MP3-14 中高生に現代抑うつ症候群は存在するのか？(2)：ケース・スタディ

田中 伸一郎、中根 えりな、尾形 広行、井原 裕

獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科

MP3-15 コロナ禍による家族関係の変化と自殺者の増加について考える徳永 雄一郎¹⁾、奥村 幸祐¹⁾、島松 まゆみ¹⁾、高田 和秀¹⁾、小柳 綾¹⁾、福元 仁¹⁾、
原田 康平^{1,2)}、増田 将人^{1,2)}、白濱 美貴子^{1,2)}、後藤 玲央^{1,2)}、松下 満彦¹⁾、川崎 弘詔²⁾

1) 不知火病院、2) 福岡大学医学部精神医学教室

MP3-16

大うつ病性障害における悲観的な未来性思考に関与する前頭極の活動

片山 奈理子¹⁾、中川 敦夫^{1,2)}、梅田 聡³⁾、寺澤 悠理³⁾、倉田 知佳¹⁾、田淵 肇¹⁾、
菊地 俊暁¹⁾、三村 将¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、
3) 慶應義塾大学文学部心理学科

MP3-17

「新型うつ」に関するパーソナリティにおける職場における対人コーピングの特徴

甲田 宗良¹⁾、井上 萩乃²⁾

1) 徳島大学大学院社会産業理工学研究部、2) 徳島大学大学院総合科学教育部臨床心理学専攻

MP3-18

うつ病に隠れたADHD特性による医療や労働上の負担を明らかにする

加藤 正樹¹⁾、西垣 信裕²⁾、辻 敏永³⁾、津田 浩史²⁾

1) 関西医科大学精神神経科学講座、2) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、
3) 塩野義製薬株式会社メディカルアフェアーズ部

MP3-19

双極性障害の長期経過中に認知症を呈した3剖検例

関口 裕孝¹⁾、羽瀧 知可子²⁾、鳥居 洋太³⁾、藤田 潔¹⁾、吉田 眞理⁴⁾、入谷 修司^{1,3)}

1) 桶狭間病院藤田こころケアセンター、2) 愛知県精神医療センター、
3) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、4) 愛知医科大学付属病院加齢医学研究所

MP3-20

退行期メランコリーとうつ病の比較～症例から診断と治療を考える～

勝村 恭子、小口 芳世、古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

MP3-21

うつ病の当事者・家族における治療意思決定の現状と希望を含めた質問紙調査の結果報告

坪井 貴嗣、浅井 宏友、渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室

MP3-22

寛解後の気分障害における残遺症状の検討

福島 絵里子、前嶋 仁、鈴木 利人、馬場 元

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

MP3-23

アクチウォッチによる「覚醒の質」の演算可能性について

中島 亨¹⁾、神田 優太^{1,2)}、高江洲 義和^{2,3)}

1) 杏林大学保健学部臨床心理学科、2) 杏林大学医学部精神神経科学教室、
3) 琉球大学医学部精神病態医学

MP3-24

気分障害圏の初診患者におけるAQおよびASRSの分布

杉本 浩利¹⁾、後藤 玲央²⁾、西 慶輔¹⁾、松下 満彦¹⁾、徳永 雄一郎¹⁾

1) 不知火病院、2) 福岡大学医学部精神医学教室

MP3-25

難治性うつ状態を呈する神経発達症の特性-作業療法による行動評価の活用

長島 泉^{1,3)}、早坂 友成^{1,2,3)}、高江洲 義和^{2,4)}、二田 未来³⁾、野崎 和博^{2,3)}、片桐 建志^{2,3)}、
今村 弥生^{2,3)}、神田 優太^{2,3)}、栗原 真理子^{2,3)}、大江 悠樹^{2,3)}、吉田 信子⁵⁾、青鹿 由紀⁵⁾、
坪井 貴嗣^{2,3)}、渡邊 衡一郎^{2,3)}

1) 杏林大学保健学部作業療法学科、2) 杏林大学医学部精神神経科学教室、
3) 杏林大学医学部付属病院精神神経科、4) 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、
5) 杏林大学医学部付属病院看護部

MP3-26

難治性うつ状態にある患者を認知機能の側面から捉えなおす試み

大江 悠樹¹⁾、栗原 真理子¹⁾、坪井 貴嗣¹⁾、高江洲 義和²⁾、片桐 建志¹⁾、野崎 和博¹⁾、
今村 弥生¹⁾、早坂 友成³⁾、二田 未来^{3,4)}、青鹿 由紀⁴⁾、小野田 直子⁵⁾、渡邊 衡一郎¹⁾

1) 杏林大学医学部精神神経科学教室、2) 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、
3) 杏林大学保健学部作業療学科、4) 杏林大学医学部付属病院、5) 武田病院

4. ライフサイクルとうつ病

MP4-1

ADHD症状を有する大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの
12週間後までの有効性の探索的検討

澤村 勇希¹⁾、竹谷 怜子²⁾、上田 ひとみ¹⁾、寺本 航起¹⁾、川上 卓朗¹⁾、坂根 遥¹⁾、
山本 亜実¹⁾、小野 久江^{1,2)}

1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、
2) 関西学院大学文学部総合心理科学科

MP4-2

ASD傾向を有する大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの
効果発現時期の探索的検討

上田 ひとみ¹⁾、竹谷 怜子²⁾、澤村 勇希¹⁾、寺本 航起¹⁾、川上 卓朗¹⁾、坂根 遥¹⁾、
山本 亜実¹⁾、小野 久江^{1,2)}

1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、
2) 関西学院大学文学部総合心理科学科

MP4-3

睡眠の問題とレジリエンスによる交互作用のうつ症状に及ぼす影響：
階層的重回帰分析による解析

寺尾 樹、志村 哲祥、井上 猛
東京医科大学精神医学分野

MP4-4

小規模リワークプログラムの可能性～ワーク&ライフサポート

大橋 昌資¹⁾、塚原 葉子¹⁾、藤原 茂樹^{1,2)}

1) 医療法人啓夏会響ストレスケア～こころとからだの診療所、2) 医療法人翠風会藤原医院

5. 自殺予防

MP5-1

「当院での自殺予防対策の取り組み」～潜在化していた希死念慮の抽出と
トリアージの課題～

荒木 健介、徳永 直也、行武 亜由子、原 恭美、原田 康平、松下 満彦、徳永 雄一郎
不知火病院

MP5-2

新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年とコロナ禍の2020年のソーシャル
メディア上の希死念慮に関する話題頻度について

吉村 道孝¹⁾、北沢 桃子²⁾

1) 愛知東邦大学、2) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

6. 産業メンタルヘルス

MP6-1 うつ病休職者における集団認知行動療法の効果

—唾液中コルチゾール分泌の変化—

松永 美希¹⁾、後藤 聡²⁾、樋口 麻衣子²⁾、小野 遥加^{1,3)}、岩山 孝幸⁴⁾、野呂 泰基⁵⁾、
藤田 礼香⁵⁾、野中 和俊⁶⁾、戸張 光江⁶⁾

1) 立教大学現代心理学部心理学科、2) 立教大学理学部生命理学科、3) 青山渋谷メディカルクリニック、
4) 昭和女子大学人間社会学部心理学科、5) 立教大学大学院現代心理学研究科、
6) 大宮すずのきクリニック

MP6-2 COVID-19感染症治療に従事する医療従事者のメンタルヘルスの実態

津山 雄亮¹⁾、松浦 久美子¹⁾、高橋 聡¹⁾、河西 千秋²⁾

1) 札幌医科大学保健管理センター、2) 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

MP6-3 うつ病患者の食生活の特徴とは？

～体内時計同調のためのプログラム介入による実践報告～

近藤 智

目白大学保健医療精神科領域

MP6-4 ストレスの高低とうつ症状の有無に関する職場環境と生活習慣の検討

志賀 希子¹⁾、吉村 道孝²⁾、北沢 桃子¹⁾、泉 啓介³⁾、湊 和修⁴⁾、三村 将¹⁾、
岸本 泰士郎¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 愛知東邦大学人間健康学部、
3) 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科、4) 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

7. 家族への支援

MP7-1 ICTを活用したうつ病者家族支援システムの構築

木村 洋子¹⁾、田嶋 長子²⁾

1) 同志社女子大学、2) 大阪府立大学学術研究院第3学群

8. 症例検討

MP8-1 右片側刺激電気けいれん療法で臨床効果が不十分であり両側性刺激に変更し 著明な改善を得た双極性うつ病の2例

内沼 虹衣菜、平田 卓志、安田 和幸、鈴木 健文

山梨大学医学部精神神経医学講座

MP8-2 家庭問題から抑うつ状態となり入院が必要であった父子家庭の思春期女性症例

榎木 萌^{1,2)}、三好 幸代^{1,2)}、細川 里瑛¹⁾、上野 真梨子¹⁾、渡部 棕¹⁾、尾崎 智樹¹⁾、
西川 洋¹⁾、河邊 憲太郎¹⁾、清水 秀明¹⁾、伊賀 淳一¹⁾、上野 修一¹⁾

1) 愛媛大学大学院医学系研究科分子・機能領域精神神経科学講座、2) 松風病院

9. その他

MP9-1

精神科入院患者の語りを看護師が傾聴することに影響する要因：
国内文献レビュー

根本 友見

国際医療福祉大学成田看護学部

MP9-2

「EGUIDEプロジェクト」受講者アンケートの解析から(第2報)

小笠原 一能¹⁾、沼田 周助²⁾、飯田 仁志³⁾、長谷川 尚美^{3,4)}、松本 純弥⁴⁾、三浦 健一郎⁴⁾、
尾崎 紀夫⁵⁾、稲田 健⁶⁾、渡邊 衡一郎⁷⁾、橋本 亮太⁴⁾、EGUIDEプロジェクトチーム⁸⁾

- 1) 名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター、
- 2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、3) 福岡大学医学部精神医学教室、
- 4) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
- 5) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野、
- 6) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、7) 杏林大学医学部精神神経科学教室、
- 8) <https://byoutai.ncnp.go.jp/eguide/eguide-team.html>

MP9-3

双極性障害の当事者会の電話相談によせられた相談内容について

鈴木 映二^{1,2)}、磯谷 悠子³⁾、鈴木 千穂²⁾、保科 新悟³⁾、岩間 由美子⁴⁾、山田 和男¹⁾、
櫻田 久美¹⁾、吉村 淳¹⁾、中川 誠秀¹⁾、丹生谷 正史¹⁾

- 1) 東北医科薬科大学医学部精神科学教室、2) NPO 法人日本双極性障害団体連合会、
- 3) 東北医科薬科大学病院精神科、4) 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科

MP9-4

うつ病治療における多職種カンファレンスの重要性

原 恭美¹⁾、後藤 玲央²⁾、徳永 雄一郎¹⁾、松下 満彦¹⁾、行武 亜由子¹⁾、中崎 正一¹⁾、
山本 幸¹⁾、奥園 あゆみ¹⁾、山本 久美子¹⁾、坂梨 徹¹⁾

- 1) 不知火病院、2) 福岡大学

MP9-5

枠付けマインドシークエンス使用後の学習効果の研究－学生の反応を通して－

平井 豊美

秋田看護福祉大学看護福祉部

MP9-6

大学病院での精神科作業療法における看護師の役割
－気分障害治療における多職種チーム医療－吉田 信子¹⁾、早坂 友成^{1,2,3)}、斉藤 広子¹⁾、寺西 優里奈¹⁾、長内 千紗¹⁾、岡田 昌也¹⁾、
長島 泉^{1,2)}、二田 未来¹⁾、松本 由美¹⁾、青鹿 由紀¹⁾、野崎 和博^{3,4)}、坪井 貴嗣³⁾、
渡邊 衡一郎³⁾

- 1) 杏林大学医学部付属病院、2) 杏林大学保健学部作業療法学科、
- 3) 杏林大学医学部精神神経科学教室、4) 野崎クリニック

MP9-7

治療ガイドライン教育プロジェクト(EGUIDEプロジェクト)の効果の検討
－ガイドライン講習前と受講後3年間の臨床行動実践度の変化－山田 恒^{1,2)}、本山 美久仁¹⁾、長谷川 尚美²⁾、三浦 健一郎²⁾、松本 純弥²⁾、稲田 健³⁾、
渡邊 衡一郎⁴⁾、橋本 亮太²⁾

- 1) 兵庫医科大学、2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
- 3) 東京女子医科大学、4) 杏林大学

MP9-8

**精神科レジデントに対する治療ガイドライン教育プロジェクト
(EGUIDEプロジェクト)の効果の検討ー臨床行動実践度の比較ー**

本山 美久仁¹⁾、山田 恒^{1,2)}、長谷川 尚美²⁾、三浦 健一郎²⁾、松本 純弥²⁾、稲田 健³⁾、
渡邊 衡一郎⁴⁾

1) 兵庫医科大学、2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

3) 東京女子医科大学、4) 杏林大学